

## マーケットの動き (2022年6月6日～6月10日)

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は、中国の都市封鎖解除による経済活動の正常化期待が市場を下支えしましたが、ECB（欧州中央銀行）が利上げを示唆したことを受け下落に転じました。週末にかけては、5月の米国CPI（消費者物価指数）が上昇しインフレのピークアウト期待が後退するとともに、米国ミシガン大学消費者態度指数が過去最低に落ち込んだことで景気後退懸念が高まりました。欧州市場も、ECBによる利上げが景気を下押しするとの懸念から前週末比で下落しました。

## 投資環境見通し (2022年6月)

## 外国株式相場は、米国、欧州とも上値の重い展開に

企業業績は、一部に市場予想を下回る決算もみられましたが、全体としては堅調な結果となっています。ただし、2～4月期決算では先行きに対して慎重な見通しを示す企業もみられることから、今後の金融引き締めやインフレの企業業績に対する影響が懸念されます。

**米国：**株式相場は5月以降、景気や企業業績の悪化を織り込み始めていますが、過度な織り込みの反動から反発の可能性があります。ただし、景気の先行き不透明感から全般的には上値の重い展開になるとみえています。

**欧州：**ウクライナ情勢やECB（欧州中央銀行）による利上げペースを注視しつつ、米国株式相場と同様に上値の重い展開になるとみえています。

	6月10日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,900.86	▲5.05%	▲2.50%	▲17.21%	▲7.98%
NYダウ	31,392.79	▲4.58%	▲2.39%	▲12.73%	▲8.92%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

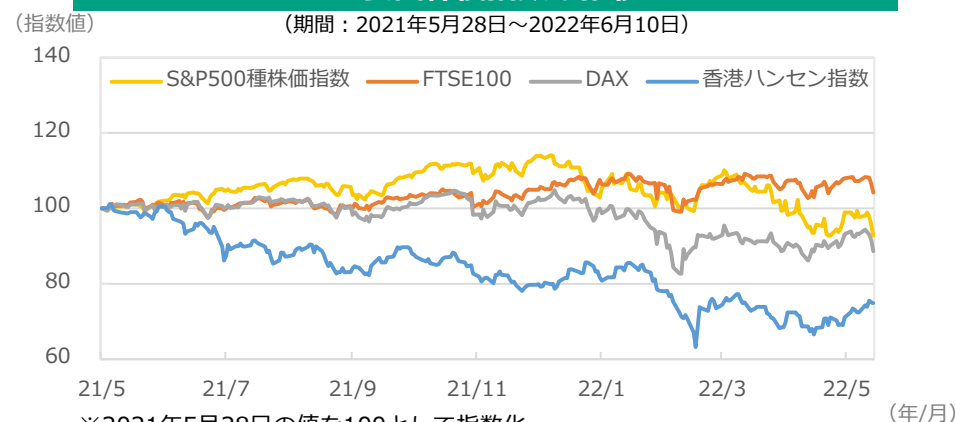
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202206\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202206_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 米国株価指数の推移



## 主要国株価指数の推移



※2021年5月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成